

# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：スポーツクラブのeスポーツ



NPO法人トリトン藤沢スポーツクラブ（以下、トリトン藤沢）は、総合型地域スポーツクラブとして、サッカー、陸上、チアダンスなどのクラブを運営しています。公式ウェブサイトではそれらの競技の名前の横に「eスポーツ」の文字。スポーツという呼び方ではありますが、サッカーなどと並べたときに物珍しさを感じます。今号では、トリトン藤沢の星野真吾さんにお話をうかがいました。

元々学生時代にサッカー部に所属していた星野さんですが、怪我のため選手寿命が短かったそうです。トリトン藤沢設立のきつ

かけは、「怪我などをしっかりとケアできるようなスポーツ活動を地域で行えるようにしていきたいというのがおもとです。当時、『怪我は我慢しろ』とか『湿布を貼れば治るだろう』のように言われる時代でしたが、道を閉ざされる人が適切なケアによって少しでも減ればと考えました」と語りました。陸上やチアダンスのクラブを含め、「とにかく多くの人に色々な経験・体験をしてもらうことが一番重要だと思っています。どの競技がというより、やったことのないこと、興味を持ったことに参加する機会を提供したい」とのことです。（つづく）



## スポーツクラブのeスポーツ

星野さんによるとeスポーツチームを作った理由は2つあり、「1つ目は、コミュニケーションや人間性を学べる機会がeスポーツにもあるということ。海外ではすでに、ゲームを通じて人とのコミュニケーションや連携・協力をし合ったり、という部分を大事にして楽しめる文化になっています。2つ目はその延長線上ですが、オリンピックなどで将来的にeスポーツが選出されるのではないかといい点です。日本以上に世界の方が、ゲームに対してスポーツ化する路線を辿っています。私たちとしては、eスポーツがスポーツとして認識される日が必ず来るので、良い部分を広げていきたいと考えています」とのことです。



星野真吾さん

現在、トリトン藤沢のeスポーツチームはプロ化までは考えていないようですが、すでに大会参加実績を持ちます。対象としているのは「Apex Legends」というゲームで、藤沢市内でも企業設立のプロチームがあります。3人1組で参加するゲームで、所属選手は星野さんご自身を含め4名。民間のアマチュア大会も数多く開催されており、2022年・2023年で18回の大会参加をこなしてきました。

また、トリトン藤沢ではeスポーツ関連事業についての実施や検討も進めています。すでに実施した内容としては、高齢者向けイベントがあります。星野さんによると、「認知症予防・介護予防の手段としてeスポーツの講座を実施しました。ゲームをして、認知症のペーパーテストをやって、変化に気づいてもらう。イベントではレースゲームもハンドルとペダルのコント



高齢者向けイベントの様子

ローラでやってもらいましたが、免許を返納された方が安全に運転を楽しむことができる機会にもなっています」とのことです。現在は障がい者施設でのイベント実施にも着手されているそうです。さらに、現在進められている中学校の部活動地域移行についても、対応できるように検討中とのこと。星野さん曰く、「部活動地域移行の生徒向けアンケートを見ると、既存のスポーツよりも新しいスポーツ、特にeスポーツの希望が多かったです。部活動は元々教育課程の中の一つですので、ITリテラシーや社会性の向上などもカリキュラムに含める必要があります。もちろん、競技として大会出場して、実績を踏まえて活動として認知してもらえる体系を整えていく形になるかと思えます」だそうです。

最後に、星野さんに今後の展望をうかがうと、「eスポーツに関しては、グローバルに広がるものではあるんですが、地域でやっているからこそ、地域の人にもっと知ってもらいたいと考えています。特に今年度は、子供たちや高齢者の方々、障がい者の方に向けてもeスポーツをする機会をもっと打ち出していきたいと考えています」とのお答えがありました。世代などによりゲームへの認識が異なるなか、星野さんは世界的な潮流を敏感に感じ取り、活動に活かしていました。今後の地域におけるスポーツのあり方について、前向きな変化を起こせるような、チャレンジングな活力を感じました。

(取材と記事作成：関野)

## 団体紹介

NPO法人

トリトン藤沢スポーツクラブ

【設立】 2016年9月

【代表】 星野 真吾

【住所】 神奈川県藤沢市辻堂東海岸3-9

【TEL】 050-5317-3074(代表)



総合型地域スポーツクラブとして藤沢市を中心に屋内外のスポーツ機会を多くの人々に提供するため、2016年から様々な取り組みを行って参りました。

私たちが提供するサービスは一人一人顔を見る事が出来る安心感と常に時代に沿った新しい文化を取り入れる事で毎年成長を続けております。スポーツという枠組みを一つの方向から関わるだけにな

く、別の角度からそのスポーツと関わりを持つ事で、多くの方々のニーズに対応出来るよう変化させております。



## 市民活動プラザむつあい新室長からのご挨拶

皆様はじめまして。またそうでない皆様にはお久しぶりです。この度、市民活動プラザの室長になりました。桜井光です。

2008年に入職し、約15年生まれ育った藤沢のまちで市民活動の支援をしてまいりました。指定管理者である法人の事業を主に担当してきました。これまでに藤沢市民まつりをはじめとした地域でのイベント運営、2020応援団藤沢ビッグウェーブやワカモノ×NPOインターンシッププログラムの事務局業務、藤沢市市民電子会議室の企画運営、クラウドファンディングのサポートなどといった業務に取り組んできました。

こうした経験を生かし、本館である市民活動推進センター分館と

して、また、北部の市民活動の拠点として市民の皆様から必要とされる施設であり続けるよう精進して参る所存です。

六会地区は小学生のサッカー一部での練習試合で毎月の様に通っていたり、学生時代は学校帰りに友人と過ごしていた思い出があります。この仕事については、2012年の第22回NPO交流サロン「素的(すてき)なふるさと六会」に参加した際の印象が忘れられません。パネリストとして登壇された団体の皆さまのお話、運営に携わるサポーターの方々、そして参加者の方々、それぞれ立場からでの活動や六会日地区に対する熱量を目の当たりにし、「これが地域の皆さんが培ってきたエネルギーな

のか！」と感銘を受けたことを昨日のこのように覚えています。

こうした思い入れある地で室長と言う任を任せられていること、幸せに感じるとともに、身を引き締められる思いです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

市民活動プラザむつあい室長 桜井光



なぜなに

NPO

vol.177



## 会話を彩る雑談力のススメ

新しい年度を迎え、新しい活動が始まる方も多いと思います。DX化が進む中ではありますが、対面での活動は市民活動やボランティア活動では不可欠ではないかと思えます。そこで、今回のテーマは、「会話を彩る雑談力のススメ」としました。

2ヶ月に一度程度届くフリーマガジンの特集記事「雑談力を磨く」が目にとまり、読んでいくと、「人と人のつながりを広げる」とありました。「つなぐ、支える、うごく」は、筆者の所属する法人の合言葉として、スタッフに浸透していますが、まさに、いの一番に「つなぐ」ためのトレーニングが、雑談力を磨くことで培われるのであれば、案外ハードルは低いのではないかと思います。

市民活動やボランティア活動は、自分以外の誰かのための活動が多く、信頼関係を築くための会話が中心になることが多くなります。組織内だけではなく、対外的も例えば、自分たちの活動の紹介や助成金申請のプレゼンテーション、新しい人材へのアプローチなど、円滑なコミュニケーションが必要になります。

では、「雑談力」はどのように磨くのでしょうか。単なる「おしゃべり」とは違うのでしょうか。まず、自分に起こったエピソードを蓄積しましょう。上手くいったことだけではなく、失敗も忘れてはいけません。そして、そのエピソードは、相手の話を聞くときに使うのです。自分の話を伝えるのではなく、話している相手の気持ちを理解し、共感するために使しましょう。しっかり相手の話を聞き、同じような体験がある時にはそれを思い出しながら、相槌を打ったり、少し言葉を

変えて同調したりすることができるための知識としての自身のエピソードの蓄積です。話相手のエピソードが、体験したことも聞いたこともない時は、しっかり受け止め、興味を以て聞き入ることも、質問することも良いでしょう。しっかり相手の顔を見ることや、自分の顔を上げることもポイントになります。それぞれの感情が上手くキャッチボール状態になることで、信頼関係をつくることのできるのではないのでしょうか。

最後に筆者のエピソードです。30歳代の頃、今は少なくなった街中の喫茶店のカウンターの中で珈琲を淹れていた時期があります。たまたま、自宅でスポーツ新聞と全国紙を購読していたので、一通り目を通してカウンターに入っていました。ボックス席もありましたが、カウンターにおひとりでお座りになるお客様向けの情報収集でした。半年もたつと、徐々に会話ができるようになってきていましたが、それでも趣味の話題には追い付けず、学びの多い時期でした。知らないことってこんなにたくさんあるのだと毎日がワクワクの連続でした。今、当時では考えられないほど多くの方と会話をしています。その頃から、自分に起こったことでの蓄積量が増加しはじめ、今もワクワクが続いていることで、相談員やサポーター、コーディネーターなどが続けられていると思うと、これまでの全ての経験がとても大切に思えてきました。「つなぐ、支える、うごく」で引き続きお付き合いください。(て)

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■ミライカナエル活動サポート事業説明会

4月16日(火)・18日(木)・22日(月)

■ミライカナエル活動サポート事業応募書類受付期間

4月25日(木) ~ 5月15日(水)

■マネジメント講座「ボランティアはじめの一步」

6月9日(日) 13:30~15:30

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■市民活動団体等の活動費を助成します (ミライカナエル活動サポート事業)

市では、市民や学生、NPO法人などによる、課題解決に取り組む市民活動を支援する「ミライカナエル活動サポート事業」の提案事業を募集します。

設立間もない市民活動団体が対象のスタート支援コース(上限20万円)、さらなる成長をめざす市民活動団体に向けたステップアップ支援コース(上限50万円)、市民活動団体や事業者、市など2団体以上が連携する協働コース(上限250万円)の3つのコースがあります。応募前にぜひ募集説明会や事前相談にお申込みください。

#### 1 募集説明会

(1) 開催日時(全3回・1時間程度・内容同じ)  
Zoom開催(自宅から参加OK)。視聴会場もあり。

【第1回】4月16日(火)午後2時~

視聴会場:市民活動プラザむつあい(会場定員:先着10人)

【第2回】4月18日(木)午前10時~

視聴会場:市民活動推進センター(会場定員:先着20人)

【第3回】4月22日(月)午後7時~

視聴会場:市民活動推進センター(会場定員:先着20人)

#### (2) 参加申込み

各開催日の2日前までに、電子申請(HPにURLあり)で申し込み、または電話で次の①~⑦を市民自治推進課まで。

① 申込者氏名 ②団体名 ③参加日 ④参加方法(ZOOM又は会場視聴)

⑤参加人数 ⑥連絡先電話番号 ⑦連絡先メールアドレス

#### 2 事前相談(要予約)

申請する事業の内容や書類の書き方などの個別相談を受け付けます。電話・メールで予約してください。

#### 3 申請受付期間

2024年4月25日(木)~5月15日(水)正午

#### 4 その他詳細

詳細は、市ホームページをご覧ください(右記の2次元コード)。

#### 5 問い合わせ

市民自治推進課

TEL 0466-50-3516

FAX 0466-50-8407

E-mail fj1-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp



### ■マネジメント講座「ボランティアはじめの一步」

誰かの役に立つ、スキルを活かす、地域の人の輪に入りたいなど、様々な目的でボランティアを始めたい人のための講座です。これからボランティアを始める人に向けて、ボランティアとは何か、今どんな活動が行われているか、始める際の心得やボランティア先の探し方を伝えることで、地域の活動への参加のきっかけを作ります。

日時:6月9日(日) 13:30~15:30

会場:市民活動推進センター・オンライン

料金:無料

講師:手塚明美氏((一社)ソーシャルコーディネートかながわ 理事長)

対象:ボランティアや市民活動・地域活動に興味のある方。

定員:30名

発行:藤沢市市民活動支援施設

本館:市民活動推進センター

開館時間 9:00~22:00 火曜休館

※日・祝は9:00~20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢2F

TEL:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516

Eメール:f-npoc@shonanfujisawa.com



分館:市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00~17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX:0466-81-0222

Eメール:f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集:認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪  
サポーターも随時募集中です!